

湖西市に全力投球！

61

市制50周年、新居手筒花火でスタート！ 2021年の漢字を『接』、2022年は『継』！

令和4年1月1日、湖西市制50周年の、記念の年がスタートしました！年明けとともに、勇壮な遠州新居の手筒花火でお祝い。これから1年間、「ご当地グルメプロジェクト」による地元産品のブランド化、「佐吉の郷・スタートアップ（創業）支援」など、継続的かつ市の持続可能な発展に繋がるような、各種の事業を行っていきます。相手方との関係で、まだ未発表の企画もありますので、お楽しみに！

毎年、ケーブルテレビ・ウィンディなどで披露させていただいている、一年を表す漢字、2021年は『接』とさせていただきます。新型コロナワクチン「接種」のほか、「近接」する周辺の市長が代わり、豊橋市と水道事業における県境を越えた連携、県西部保健所管内オンライン会議など広域連携を強化したこと、また「会う、もてなす、つながる」という意味もあり、改めて人と人との繋がりの大切さを再認識しつつ、『職住近接』を進めたことから、この字を選ばせていただきました。



なお、2022年は、『継』の年にしたいと思っています。市制50周年ということで、先人からの功績を受け継ぎ、次の世代へ継続できるように、今年も全力投球していきます。

今年は寅年。個人的には、年男でもあります。新型コロナワクチン3回目の接種も始まっており、今年こそ落ち着いた世の中を取り戻し、市民の皆様にとって、良い一年にしていきたいと思います！

湖西市長 影山剛士

市制施行 50周年記念コーナー

一緒に 50 周年をお祝いしましょう！



50 周年記念ロゴマーク、冠称を使ってくれる人募集中！

●既にロゴマークを使用していただいた例



▲いさごや



▲ひので軒



▲大津屋 (敬称略)

ここでは紹介しきれませんがこれ以外にも商品やチラシ掲載などで活用していただいています。

また、冠称使用についても映画上映会など、徐々に活用の幅が広がっています。

地域のイベントなど、どんなものでも構いません。

活用を希望される場合は、右の二次元コードから詳細をご覧ください。

※冠称使用とは「湖西市市制施行 50 周年記念」と、イベントなどのタイトルに付加することです。

ロゴマークの
利用はこちら



50周年冠称の
利用はこちら



●問合せ先 企画政策課
☎ 576-4521 FAX576-1139

市制施行 50周年記念コーナー

一緒に 50周年をお祝いしましょう！



30年の時を超えて…
市制 20周年に埋めた
タイムカプセルを開封！

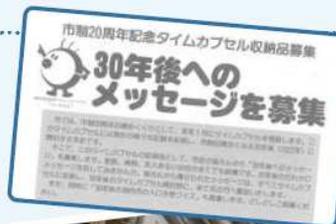
市制施行 20周年記念として平成 5年（1993年）に埋設したタイムカプセルは、50周年で開封することになっていました。

約束どおり令和 4年 1月 18日（火）に掘り起こしたところ、カプセルの中には 30年前の資料や記念品などが入っていました。

これらについては、イベントなどで展示し、皆さんに紹介する予定です。



○当時の湖西市の小中学生が書いた「30年後へのメッセージ」。未来の自分や友人、家族へ宛てたものです。「人口予想クイズ」と正解者への賞品も入っており、今後、対象者にお届けしていきます。



▼ 30年後の自分に宛てた手紙発見!!

うれしいような、恥ずかしいような…。
（「幸せに暮らしていますか？」と書いてありました）



○発掘したカプセルと記念撮影するお子さんも。これから 30年後も覚えていてくれるかな？



○当時、タイムカプセル担当職員だった竹上 弘さん。埋設時の写真が納められたアルバムを懐かしそうに眺めていました



▲ 30年前



現在▶

市制 50周年記念事業

記念のイベントやプレゼント企画などの最新情報は、市公式ウェブサイトに掲載しています。

こちらからアクセス▶



●問合せ先 企画政策課
☎ 576-4521 FAX576-1139

市制施行 50周年記念コーナー

連載「わたしの50年」①

子どもたちの笑顔と共に50年

一緒に50周年をお祝いしましょう！



びしょう
微笑こども園

●問合せ先 企画政策課
☎ 576-4521 FAX576-1139



▲ペットボトルキャップで作ったよ！
(年長児の皆さん)

自然豊かな湖西連峰のふもと、梅田に位置する「微笑こども園」。今年度で設立50周年を迎えたことを記念し、子どもたちや先生、送り迎えの保護者の協力も得ながら記念作品を制作しました。

園名のとおり、子どもたちが幸せを感じて笑顔でいられることを何より大切に、50年間で約1,000人の卒園児を送り出してきました。長く続けてこられたのは、園を愛してくれる地域の皆さんがいたから。かつての卒園生が親になり「自分の子も微笑に通わせたい」と久しぶりに顔を見せてくれることも大きな支えになっています。皆さんへの感謝を胸に、これからも職員一同、子どもたちにたくさんの愛を注いでいきたいと思います。
【話：社会福祉法人花園福祉会 微笑こども園 園長 河田 宗康さん】

湖西市に全力投球！

63

春風とともに、新年度へ。市制50周年記念事業も契機に、未来に向かって！

春の風とともに、年度末。早咲きの大知波桜も、多くの方にご来訪いただき、好評でした。



4月から新年度が始まります。コロナ禍ではありますが、市の予算でも、「職住近接」による持続可能な発展のため、中・長期を見据えた政策を打ち出しています。

- ①市制50周年事業：「ご当地グルメプロジェクト」による地場産品のブランド化等で、市の魅力を創造発信し地域活性化に繋げ、「未来のこさい提案制度」を拡充し「佐吉の郷・スタートアップ支援事業」等による市民や地元企業のアイデアを活かして、公共交通や畜産臭気など地域の課題解決、市民サービスの向上を図ります。
- ②子育て支援拡充：「育ちの応援ステーション」創設でワンストップ相談窓口を充実し、妊娠期から子育て期と切れ目なく支援するとともに、マタニティタクシー導入、保育料引き下げ・多子世帯減免の拡充、



放課後児童クラブの増設により、若い世代に選ばれる自治体を進めます。

- ③モノづくり人材育成・産業ネットワーク、カーボンニュートラル：省エネ診断・分析を行う中小企業への支援、再生可能エネルギー導入促進により脱炭素化を進め、職業訓練センターのリニューアル・拠点化により電動化や事業承継など、一企業のみでは解決困難な課題の体系的な解決を図ります。
- ④土地利用の推進：浜名湖西岸地区に加え「浜松湖西豊橋道路」IC周辺など、宅地・商工業施設といった市内外からの需要にお応えできるよう、一体的に推進していきます。

市制50周年も契機に、10年、50年先の未来に向かって、一緒にまちづくりを進めていきましょう！

湖西市長 影山 剛士

市制施行 50周年記念コーナー



一緒に 50周年を
お祝いしましょう!



市内でパソコン教室を運営しているマナカル湖西校と一緒に、ゲーム「マイクラフト」を使ったグランプリを開催中!

このイベントは、昨年募集した一般アイデアの中から採用し実現するイベントです。

個人はもちろん、親子や友人と協力してグランプリに挑戦してみませんか?

たくさんのご応募をお待ちしています!

- 募集期間 9月30日(金)まで
- 対象年齢 18歳以下の応募作品。
それ以外の人からの応募作品は、審査対象ではありませんが、大会公式ウェブサイトなどで公開することがあります。親子やグループでの参加も可能です。
- 展示・表彰 優秀作品には、賞状と副賞をプレゼント。優秀作品は、大会公式ウェブサイトや12月の表彰式で公開します。
- 応募方法 イベントの公式LINEまたはメールで申し込み

ゲーム内で作る	①湖西市にあつたらいいな (お店や建物など自由)
ゲーム操作を競う	②未来の車コンテスト
ゲームが苦手な人も	③オリジナル作品
	④ RTA (タイムアタック企画)
	⑤粘土などでオリジナルクラフト

- 問合せ先
企画政策課 ☎576-4521 FAX 576-1139
マナカル湖西校/UGO学院 ☎415-8712



◀ 詳細はこちらから
または「マイクラGP」で検索

市制 50周年記念動画

市制施行当時をはじめとした昔の写真やフォトコンテストなどの現在の写真を織り交ぜたスライドショー形式の動画です。この動画とともに皆さんの中にある「湖西」を振り返ってみませんか。

こちらからアクセス▶





50年前の鷺津駅に
タイムスリップ
上の写真は市制移行した頃の昭和40年代
区画整理で大きく様子が変わり、現在は
キレイなロータリーになっています。



FROM 1993 → TO 2022

夢が詰まったタイムカプセル

市制20周年を記念して平成5年(1993年)に埋設したタイムカプセル。
予定どおり、30年後の市制50周年である令和4年(2022年)1月18日に開封しました。



開封品から感じる30年前の生活

使い捨てカメラ、ファッション雑誌、現代とは異なる商品の数々。30年でこれだけ変わりました。

開封品を展示しています

タイムカプセルの中身を湖西市立中央図書館に展示しています。

展示物は月ごとに変更、期間は6月までを予定しています。

タイムカプセルには、2つの夢の企画が入っていました



人口予想クイズ結果発表

30年後の人口を予想するクイズの回答を募集し、3,018通の応募がありました。全ての回答を確認して、上位20名が決定しました。賞品としてタイムカプセルに収納されていた30年前の記念品を贈呈します。

正解 58,643人(令和4年1月1日時点)

第1位(最も近似値) 58,655人

当時書かれた「30年後へのメッセージ」をお送りします

30年前当時の湖西市内の小学4～6年生と一部の中学生、一般応募の皆さんが書いたメッセージ計3,019通をお届けします。

●5月31日(こさいの日)に、はがきサイズのメッセージを封筒に入れて順次、発送をはじめます。

●送り先は、30年前に指定された宛先です。

※作成者本人に限らず、作成者が指定した友人などに届くこともあります。



湖西市立中央図書館 0576-4541

▲30年前の案内文

タイムカプセル埋設式で読まれた手紙を紹介します

30年後のみなさんへ

30年後の皆さん、こんにちは。私は、現在鷺津中学校2年生の少女です。

30年後の湖西市の生活や、街並みはどんなふうになっているのでしょうか。

鷺津や新所原には今よりも家がたくさん建ち、駅周辺にはおしゃれなショッピング街ができて、買い物を楽しむ人たちが賑わっていることと思います。

また、市内のあちこちにはきれいな公園が作られ、浜名湖の岸边には、お年寄りも子どもも安心してくつろげる散歩道や憩いの場もできているかもしれません。



30年後の私は44歳。たぶん結婚し、子どもも何人かいて幸せな家庭を築いていることと思います。ひょっとしたら、他の町へお嫁に行つて湖西市には住んでいないかもしれません。

そんな私が夢見る30年後の湖西市の姿は、街中どこへ行つても庭先や歩道に設けられた花壇に年中きれいな花が咲いていて、歩いていてもごみ一つ落ちていないきれいな町、公園や歩道にはベンチが設けられていて、老夫婦や赤ちゃん連れの夫婦が笑顔であいさつを交わし、くつろいでいる。このように暖かくて、ほのぼのとした雰囲気を感じる。そんなまちになっていたらいいなと思います。

30年後の湖西市が少しでも自分の夢に近づいていくことを期待し、自分自身少しでも何かお手伝いできることがあれば夢実現のために努力していきたいと思っています。

では、30年後の皆さん、さようなら。

(原文のまま)



佐々木 恵里さん (旧姓：内山)

当時中学生でタイムカプセル埋設に立会い、埋設式で手紙(上記)を読み上げた佐々木さんに現在の状況や思いをお聞きしました。

- ① 30年後に予想したご自身のすがた(状況)と今を比べてどうですか?予想通りになっていますか?
- ② 30年前に思い描いていた人生通り、とは言えませんが、お嫁に行つて母親になる、という夢を叶えることができました。「他の町にお嫁に行つて」という点は、予想通りと言ってもいいかもしれません。
- ③ 30年後に夢見た湖西市の姿に、今の湖西市は近づいているでしょうか?今の湖西市の印象は?
- ④ さまざまなお店や新しい住宅が増えて、にぎわっている印象があります。その一方で、本興寺や湖西運動公園周辺の変わらない景色を見た時には懐かしい思いになりました。
- ⑤ これからの湖西市がどうなっていくと良いと思いますか?
- ⑥ 当時、市立図書館をよく利用していましたので、これからも有意義な公共施設が増えてほしいと思います。住民の皆さんが暮らしやすい湖西市になっていくことを願っています。

5月、大空を泳ぐ鯉のぼり。次世代のモノづくりへ 「KOSAI Battery Park」の名称決定!



「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」と詠んだのは、江戸時代の俳人・山口素堂ですが、おちばの里親水公園では、まさにその通り。日差しもまぶしく、GWの期間中は湖西フロンティア倶楽部や夢くらぶ21の皆さんに飾り付けていただいた鯉のぼりが、気持ちよさそうに大空を泳いでいました。新居井天の海湖館では、家族連れに人気の恒例「魚つかみ体験」も、始まっています!

5/9から、市内飲食店応援のため「消費喚起LINEクーポン」発行が開始されました。最大で1,800円割引となるクーポン。おトクに飲食を楽しみながら、地域経済の活性化を行いましょう!同時に、飲食店や商工会、JCなどのメンバーによる「こさいご当地グルメプロジェクト」も始動。市制50周年を契機に、市民に愛され、市外からも食べに来られるような料理メニューの創出、地域特産物のブランド化を、楽しみにしています。



4/27には、浜名湖西岸土地区画整理の現場で、プライムアースEVエネルギー新工場の安全祈願祭。用地の新名称が「KOSAI Battery Park (コサイバッテリーパーク)」に決定、トヨタ自動車から発表されました。車載用電池のマザー工場、一大生産拠点として、次世代のモノづくり、脱炭素化や自動車の電動化への大きな役割を果たすこと、期待しています。(写真提供:プライムアースEVエネルギー株式会社)



5/14に開催された、市制50周年記念式典の様子は、次回のコラムで、お話しさせていただきます!

湖西市長 影山 剛士

広報こさい Kosai

2022年

7
月号



「みらいのこさい」
作文コンクール最優秀賞
岡崎小学校5年 本村 美陽さん

新居高校書道部と湖西高校三味線部の
オープニングアクト



司会は 湖西市ふるさと大使
田中 健太郎さんと
元To-To-Me 近藤 芽有さん



←中部航空音楽隊の演奏も盛り上がったよ！（裏表紙に掲載）

湖西市市制施行50周年記念式典 令和4年5月14日(土)

令和4年度 湖西市表彰

5月14日(土)湖西市市制50周年記念式典で、令和4年度湖西市表彰式を開催しました。式で

は、長年にわたり各分野で湖西市の発展に尽力された受賞者の皆さんに、市長から表彰状が贈られました。今年度表彰された皆さんをご紹介します。(五十音順・年齢は5月14日時点)



社会福祉功労

穴水 春男さん(78歳)

昭和54年より、保護司として保護観察下にある人の生活相談、社会復帰への手助けをはじめ、法務省主催「社会を明るくする運動」の中心となり実施運営し、地域における犯罪予防活動にも尽力した。平成12年からは、湖西地区保護司会の会長として、就労支援のために協力組織との緊密な関係を保ち、また再犯防止のために関係機関と連携を図りながら、湖西地区保護司会の活動を強力に推進してきた。



社会福祉功労

天野 佐矩夫さん(77歳)

平成11年より、湖西地区保護司として犯罪をした者および非行のある少年の改善更生を助けるとともに犯罪の予防のため世論の啓発にも努めた。平成28年からは、湖西地区保護司会新居町支部長として、支部活動の円滑な運営に尽力した。



教育学術文化スポーツ功労

片山 義孝さん(76歳)

平成6年4月の「湖西市ジュニアスポーツクラブ推進委員会」設置以降、同委員会の推進委員を28年もの永きにわたり現在も務め、また、同クラブの発足時より野球の指導者として、地域のスポーツ普及活動において多大な功績を残している。昭和57年からは白須賀地域にあるスポーツ少年団の活動に指導者・監督としても尽力し、市民の体位・体力の向上、健康づくりに寄与している。



教育学術文化スポーツ功労

駒澤 俊明さん(74歳)

平成6年4月の「湖西市ジュニアスポーツクラブ推進委員会」設置以降、同委員会の推進委員を28年もの永きにわたり現在も務め、また、同クラブの発足時より野球の指導者として、地域のスポーツ普及活動において多大な功績を残している。平成20年からはボランティアで湖西運動公園野球場の整備を行っており、多年にわたり施設の管理に尽力することで市民の体位・体力の向上、健康づくりに寄与している。



教育学術文化スポーツ功労

白井 祐子さん(74歳)

50年以上にわたり、教育・保育の現場にて児童の育成にまい進し、児童の保護者からの信頼も厚く、その幅広い知識や経験による子育て支援に支えられたものは計り知れず、市の教育・児童福祉の増進に大きく寄与している。昭和51年からは幼稚園副園長として、平成14年からは幼稚園園長として他の模範となり、幼稚園教諭の指導や育成に尽力している。また、平成25年に幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行し、児童の教育・福祉増進にも積極的に取り組んでいる。



教育学術文化スポーツ功労 **杉本 芳雄さん(72歳)**

平成16年度より、遠州新居手筒花火保存会の会長として、新居町の特色ある手筒花火の保存伝承に長年努めた。中でも、平成21年度には全国各地で伝承されている特色ある花火が披露される「全国伝統花火サミット」の新居町での開催に実行委員長として、平成26年度には遠州新居手筒花火と新居諏訪神社祭礼奉納煙火の調査結果をまとめた書籍・DVDの製作に実行委員会の副会長として貢献し、その功績は計り知れない。



教育学術文化スポーツ功労 **野末 正彦さん(76歳)**

平成6年4月の「湖西市ジュニアスポーツクラブ推進委員会」設置以降、同委員会の推進委員を28年もの永きにわたり現在も務め、また、同クラブの発足時よりソフトテニスの指導者として、地域のスポーツ普及活動において多大な功績を残す。平成18年からは湖西市スポーツ協会のソフトテニス部の役員としても尽力し、市民の体位・体力の向上、健康づくりに寄与している。



教育学術文化スポーツ功労 **渡邊 和敏さん(75歳)**

交通史の歴史学者として、昭和51年に新居関所史料館の副読本『街道と関所』を執筆。交通史と新居関所の研究の第一人者であり、新居町の歴史の基礎資料である『新居町史』『静岡県史』の共編著など、湖西市の歴史深化に寄与し、学術文化分野において多大な功績を残す。また平成8年から特別史跡新居関跡整備委員として、26年余りにわたり、関所整備の文献史料からの時代考証や史料館の活用運営について提言を行うとともに、会議の委員長として委員会を進行し、大御門、裏御門、女改之長屋などの復元整備を完成へと導いた。

50周年特別表彰



保健衛生 ● 浜名医師会 ● 浜名歯科医師会 ● 浜松市薬剤師会 ● 寺田 肇さん

教育・文化・安全 ● 寺田 敏幸さん ● 湖西市交通指導隊
● 湖西市地域防災指導員連絡会 ● 湖西フロンティア倶楽部

環境 ● A.L.B.S新居ローカルビーチセイバー ● シオミビーチプロジェクト
● 上ノ原花の会 ● 笠子花の会 ● 湖西をきれいにする会 ● 新所婦人会

善行 ● 湖西市建築業組合 ● 豊橋信用金庫 ● 株式会社 旭電気工業所



一緒に50周年を
お祝いしましょう!

連載 「わたしの50年」②

ふる里のような場所でありたい

今年、開店50周年を迎えた鷺津の喫茶店「コーヒー」ふる里。店主の猪井 正道さん・慶子さん夫妻に、お店の50年を振り返ってもらいました。



▲正道さん(写真手前右)、慶子さん(写真手前左)と、お店を支える家族、スタッフの皆さん



▲看板メニューは鉄板で提供される焼きうどんと、60種類以上ある夏季限定かき氷。

▶子どもの時から料理が好きだった正道さんが23歳の時、地元鷺津に念願の喫茶店を開店しました。すぐ近くに企業の社員寮があったことから「親元を離れて暮らす人たちに故郷を思い出してもらえるような居場所になれば」と、正道さんの亡くなったお祖母さんが「コーヒー」ふる里と命名しました。慶子さんと結婚後は、子育てとの両立に苦労しながらも、二人三脚でお店を切り盛りしてきました。その後、慶子さんの弟・木下 幸保さんがスタッフに加わり、現在まで変わらない味を提供し続けています。▶開店当初は会社員など男性のお客が多かったのが、いつしか家族連れで訪れる方が増え、メニューも増え、幅広い層に愛されるお店に。「今ではお孫さんを連れ3世代で来店してくださる方もいらっしゃるんです。何より毎日コーヒーを飲みに来てくださる常連さんと、平日限定の日替わりランチや夜定食を楽しみに来てくださるお客様とは、もう家族みたいですね」と、二人感慨深く50年を振り返ります。▶「ふる里」を愛し、足を運んでくれたお客様や歴代のスタッフへの感謝を胸に、健康な限りお店を続けたいという正道さんたち。会話しながらコーヒーや食事を楽しむことが難しいコロナ禍は我慢のとき。収束後には、安心して、自由に、気楽におしゃべりを楽しめるふれあいの場を地元の皆さんに提供したいと、待ち望んでいます。

湖西市に全力投球! 66

湖西市制50周年式典、 5月31日は「#こさいの日」!

5月14日、湖西市制50周年式典を開催しました。新居高校書道部・湖西高校三味線部の皆さんによる『未来へ』素晴らしいオープニングアクトで幕を開け、市政発展にご尽力された皆様への市表彰・50周年特別表彰。

また、市内小中学生の「みらいのこさい」作文コンクール665点の最優秀賞、岡崎小の本村 美陽さんによる「ゆたかな自然と助け合いの町」、湖西への思いのこもった、胸を打たれる素晴らしい発表でした。遠州信用金庫さんから次世代自動車のご寄贈、航空自衛隊中部航空音楽隊による迫力ある演奏、そして5月31日を「こさいの日」とする宣言を、新居・湖西高校生や、司会で湖西市ふるさと大使の由中健太郎さん・近藤 芽有さんといった、若い世代の皆さんと一緒に行いました。

そして5月31日、宣言後初の「こさいの日」には、トヨタ自動車・浜名湖電装・プライムアース



EVエナジーから、約100名ものモノづくり関係者、オリンピック・パラリンピアン、研究開発者などにお越しいただき、市内中学生向けに「君の可能性は無限大!」をテーマに、交流・体験などの特別授業を行っていただきました!

モノづくりを体験する中学生▶



また、「#こさいの日」SNS投稿募集では、市内の多くの店舗から、531円の特別メニューやサービス、お気に入りの場所や思い出など、多くの投稿を、ありがとうございました!

今後も、50周年を契機に、10年後、50年後の「みらいのこさい」へ繋がる取組を、行っていきます!

湖西市長 影山剛士

5月31日を「こさいの日」と宣言!

5月14日(土)に、湖西市市制施行50周年記念式典を湖西市アメニティプラザで開催しました。新居高校書道部と湖西高校三味線部による若い世代のメッセージが伝わるパフォーマンスでオープニングを飾りました。

第1部▶湖西市表彰・50周年特別表彰、遠州信用金庫からの次世代自動車寄贈セレモニー、「みらいのこさい」作文コンクール全665作品の中から最優秀作品に選ばれた『ゆたかな自然と助け合いの町』の朗読、そして5月31日をこ(5)さ(3)い(1)の語呂に合わせて「こさいの日」とする宣言を行いました。

第2部▶航空自衛隊中部航空音楽隊による記念演奏会が行われ、市民など670人が観覧しました。「ウィー・ウィル・ロック・ユー」では、観客の皆さんの手拍子で会場が一体になりました。



①新居高校と湖西高校の皆さんと一緒に「こさいの日」宣言②次世代自動車寄贈セレモニー③自衛隊静岡地方協力本部と一緒に記念品を制作する子どもたち④航空自衛隊中部航空音楽隊が「湖西市歌」を含め9曲を演奏⑤ソロを務めた航空自衛隊中部航空音楽隊のコンサートマスター⑥「湖西の昔写真展」として市制施行当時(約50年前)の湖西市内の貴重な写真の数々を展示。



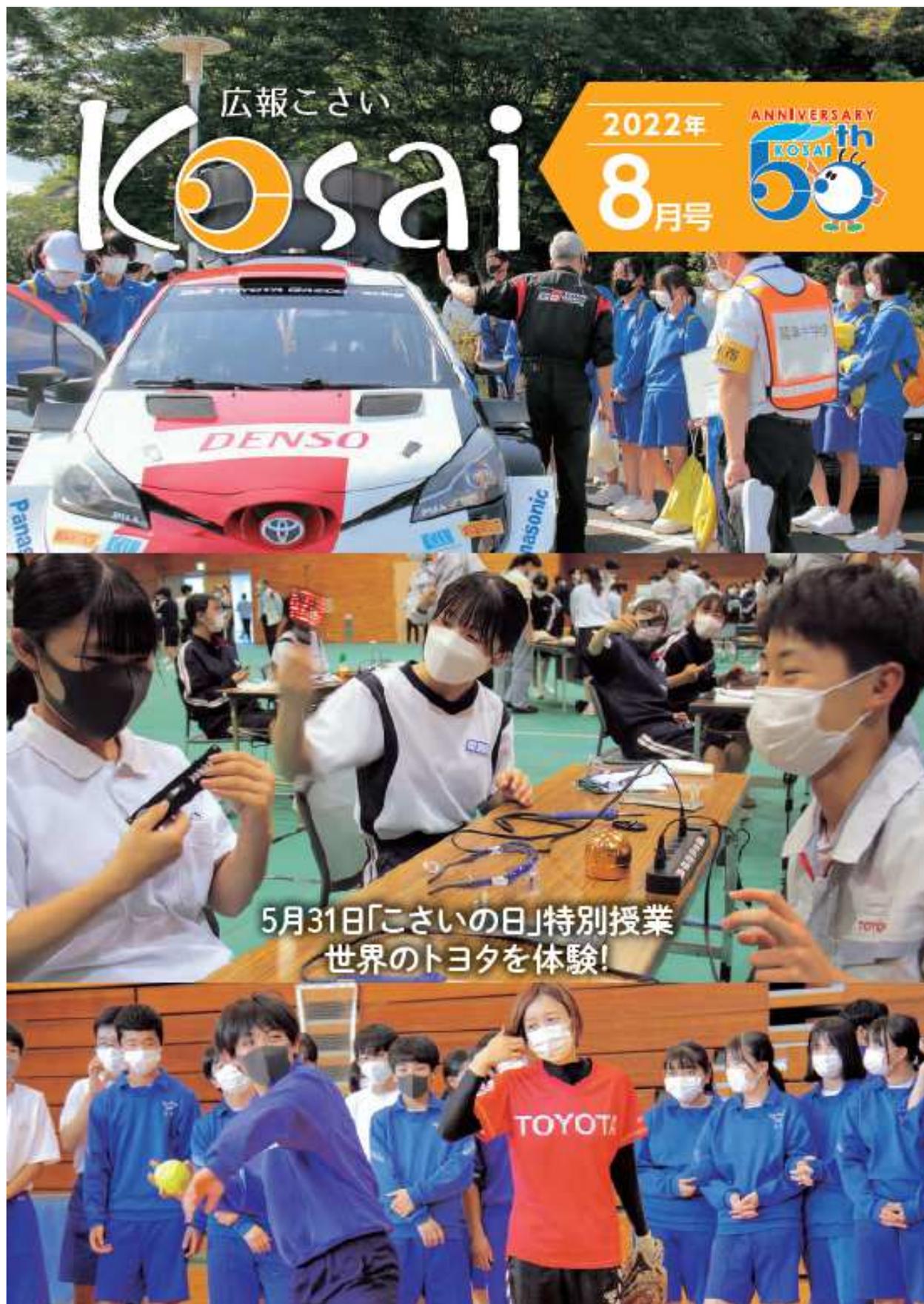
動画でも! YouTube 湖西市公式チャンネル



「知っトク! 週刊こさい(2022年5月23日号)」では式典のハイライト、「湖西市市制施行50周年記念式典」では第1部を約40分間にまとめた映像をご覧ください。



制作: 浜松ケーブルテレビ(株)



君の可能性は無限大!

5月31日「こさいの日」特別授業



1



2

湖西市市制施行50周年記念式典で「こさいを誰もが愛着を持てるまちにする」という想いをこめて制定された「こさいの日」。制定後、初めて迎えた5月31日(火)湖西市内の全中学3年生約500人が湖西市アメニティプラザに集結しました。トヨタグループの礎を築いた豊田 佐古翁が湖西市出身であることから、トヨタ自動車や湖西市の浜名湖電装とプライムアースEVエナジーの協力を得て、モノづくりの最先端技術を学んだり、オリンピックメダリストを含むトヨタ所属アスリートと交流をしたり、特別な体験を楽しみました。

①長距離を歩くことが困難な人を支援するために開発された電動三輪車「C+walk T」の乗車体験②世界ラリー選手権でも使用された「GRヤリス」のエンジンの爆音と風に驚く生徒たち③トヨタ自動車 営業本部長・人事本部長が、クルマを走らせるために550万人が活躍していることなど自動車業界の現状・未来について講演④豊田 佐古翁も愛した車、その飛ぶ力で発電をする研究「カイトシステム」を見学



3



4

湖西歌舞伎、3年ぶり公演!夏のイベントも再開!

6月26日、3年ぶりに湖西歌舞伎の定期公演が行われました。感染対策のため、席の間隔を空けての開催でしたが、約400名の聴衆で立ち見含め、満席。保存会の皆さんによる「三人吉三 巴白浪」「神靈矢口渡」の熱演に加え、湖西太鼓ゆめ昂やなでしこ会との、和太鼓や踊りのコラボもあり、子どもたちや客席と一体となって、大いに盛り上がりました。

6月30日～7月1日には、こちらも3年ぶりに、木曾町の小学生の皆さんが湖西市に訪れ、福島と新居の開所業がりて、昭和54年に交流が始まって43年、今年が「文化交流親善友好都市宣言」締結10周年でもあります。



▲自ら釜揚げしたシラスを食べる木曾町の子どもたち(海湖館にて)

コロナ禍でも毎年、新居小の5年生やスポーツ少年団が、スキー教室で木曾町にお世話になっています。歓迎式典では新居町・三椒会の皆さんが手筒花火を披露。木曾町の子どもたちも一緒に、「ソラダセダセヨ」と掛け声をかけてくれました。海湖館では水遊びや、シラスの釜揚げ体験!子どもたち同士の交流も、早期に再開できると良いですね。

8月20日には市制50周年「おいでん祭」が、ポートレース浜名湖に会場を移して3年ぶりに開催。同日、湖西市ふるさと大使の菅間 ローズや大黒 摩季さんなどによる「浜名湖ミュージックフェス」も!

他にも、浜名湖キューパ・ヘミングウェイカップやミナトリング、天浜線マルシェなど、夏のイベントが数多く予定されています。感染対策は続けつつ、湖西の暑い夏を、楽しみましょう!



湖西市長 影山 剛士

市制施行50周年記念コーナー

市制50周年を機に 湖西市 新キャラクターが誕生します

市制50周年を迎えた今年、「湖西市の知名度向上」を目指し、新しいPRキャラクターが誕生します! キャラデザインは8月20日の「湖西おいでん祭」にて公表する予定です。

なぜ新しくキャラクターをつくるの?

湖西市をもっと多くの人に知ってもらうことが目的です。「湖西市ってどこにあるの?」「浜名湖の西は愛知県でしょ?」「湖西って浜松じゃないの?」県内の人からもこんなことを言われてしまうことがある湖西市。新キャラクターが湖西市を飛び出し、イベント会場やウェブ上で湖西市を宣伝することで、「湖西市は浜名湖」のイメージを打ち出し、湖西市の存在や市の特長(豊かな食文化や自然環境、歴史)を知ってもらうことを目指します。



どんなキャラクターができるの?

「浜名湖」を表現し、誰からも愛される可愛さを持つキャラクターとなる予定です。今年2月に20～40代の市職員による検討会が発足。同月に市民の皆さんをはじめとする湖西市公式LINE登録者に対して行ったアンケートの結果や、他自治体の状況も参考に、どんなキャラクターがいれば湖西市を多くの人に知ってもらえるか話し合ってきました。湖西の景観や食、歴史などを特徴づけ、かつ全国で知られた存在である「浜名湖」を手掛かりとして、浜名湖から連想するある物をモチーフとしたキャラクターとなる予定です。

コーちゃんはどうなるの?

コーちゃんは今までどおり活躍します。市制20周年で誕生し、30年間に渡って湖西市マスコットキャラクターとして愛されてきた「コーちゃん」は、これまでどおり、市のシンボルとして市内のいろいろな場所で活躍します! 一方で、着ぐるみやSNS上でコミュニケーションを取ってファンを増やす役割は新キャラクターが担います。

コーちゃんも引き続きよろしくね!

湖西市マスコットキャラクターコーちゃん



こさいご当地グルメプロジェクト始動。

市制50周年を契機に、市民のアイデンティティとなるような「料理」により、湖西市の食の魅力を引き上げること、賑わい創出と経済活性化および知名度向上を図ることを目的として始動しました。

こさいご当地グルメプロジェクト実行委員会 市内の飲食事業者や商工会、マーケティング・ブランディングの専門家などで構成される実行委員会が主体となって、事業を進めます。幅広く意見を伺い、情報発信をしながら、市民の皆さんが納得するとともに、多くの市内飲食店で取り扱われ、長く地域に根付いて市の魅力となるようなご当地グルメの創出を目指します。



Twitter @KosaiGastronomy

協議・決定していくこと

- ▶ご当地グルメのメニュー
 - ①食材→②料理法→③独自性の考案・市策→④テストマーケティング→⑤決定
 - ▶ブランドデザイン
 - ▶プロモーション戦略
- 今後のスケジュール
令和4年12月末までに、こさい版ご当地グルメを1品決定します。その後、イベントなどのお披露目を予定しています。

市制施行50周年記念コーナー



こさいグルメスタンプラリー ～巡って発見「こさいガストロノミー」～

湖西市の食の魅力を再発見！市内飲食店などで湖西市の美味しいものを食べて、デジタルスタンプを貯めよう！
抽選で商品券などが当たるかも！

- 開催期間 9月1日(木)～11月30日(水)
- 参加方法 1店舗800円以上の支払いでスマートフォンにデジタルスタンプ1個を付与。最大5個のスタンプ獲得で、抽選に参加できます。
- 賞品 市内の参加飲食店などのいずれかランダムに指定された店舗で使用できるクーポン券(1,000円分)またはスマートフォン決済に残高をチャージできるギフトカード。組み合わせで最大合計5,000円分
- 参加店舗 右の二次元コードから専用ウェブサイトをご覧ください。



一緒に50周年をお祝いしましょう！



湖西市に全力投球! 68

地元産品のブランド化へ、湖西市産100% 「湖西ポーク」販売が決定!

新型コロナウイルスの感染者数が、多くの都道府県で最多を更新するなど、再び増加しています。湖西市でも7月22日に154名と過去最多となりました(8月1日時点)。発熱外来などの受診者も増加し、医療機関のひっ迫も懸念されています。

他方、県内における重症者はわずかであり、行動制限はかけられていません。引き続き気を緩めず、感染対策は続けつつ、社会や経済を持続可能な形で、回していきましょう。

さて、7月16-17日にかけて、第1回「浜名湖キューバ・ヘミングウェイカップ」が、浜名港、ポートレース浜名湖などで開催されました。



▲漁業取締船「天龍」の公開、釣り上げられたカジキ

浜名湖の更なる賑わい創出のため、5年以上かけてキューバから冠を頂き、当日は135kgのカジキを釣り上げたチームが優勝！同時にステージイベントや高校生のパフォーマンス、天浜線マルシェ、夜には駐日キューバ大使も一緒に、新居の手筒花火！

9月には、市制50周年記念「湖西ポーク」を、かきこやさんの市内3店舗(仲町店、プラザ店、入出店)での販売が決定しました！市内の小中学校の給食でも、子どもたちに湖西ポークのメニューが提供される予定です。同時に、Instagramのハッシュタグ「#湖西ポーク企画応募」で湖西ポークを使った料理写真を応募すると、農業振興協議会さんからお米やみかんなど農産物が当たるキャンペーンも同時開催。県内1位の飼育頭数かつ、肉のきめが細かく舌ざわりが良いのが特徴とされる湖西市産100%の「湖西ポーク」。第2弾や、他の食材へも拡大できたらと考えています。地元産品のブランド化へ、ぜひ味わってみてください！



湖西市長 影山 剛士

市制施行50周年記念コーナー

湖西市ふるさと大使であるデンソーポラリス(デンソー女子卓球部)が、湖西市アメニティプラザで後期日本リーグホームマッチを開催します。地元で活躍するポラリスの試合を観戦できるチャンスです。ぜひ会場で応援してください!

- とき 10月22日(土) 15時試合開始
- ところ アメニティプラザ
- 対戦 デンソー 対 中国電力
- その他 ▶先着500人に湖西市市制50周年ロゴマークとデンソーポラリスのマスコットキャラクター「ポラリン」が入ったオリジナルマフラータオルをプレゼント! ▶シャトルバス運行あり ※詳細はデンソーポラリスの公式サイトへ
- 注意 新型コロナウイルスの影響などによって、変更・中止となる場合があります。



- 問合せ先 ホームマッチ▶株式会社デンソー湖西製作所 女子卓球部 ☎053-572-3317 / 市制50周年記念イベント▶企画政策課 ☎053-576-4521 FAX053-576-1139

♪人が人を呼ぶ♪ カニバル

3年ぶり 湖西おいでん祭

コーちゃんのカメラレポート!



8月20日 ポートレース浜名湖西駐車場

①開会宣言後、航空自衛隊浜松基地のT-4、T-400機が会场上空を展示飛行 ②③ステージで踊りや歌を披露する市民 ④飲食やゲームなどのブースが多数出店 ⑤老若男女が参加した3年ぶりの総踊り ⑥手筒花火を体験する親子 ⑦今回から車で来場できる広い会場に移転し終日にぎわった ⑧⑨湖西市ふるさと大使とこの日誕生したプロモーションキャラクター。特設ブースは名前応募や記念撮影で人が途切れることがなかった ⑩10分間で150本を出した迫力の遠州新居手筒花火



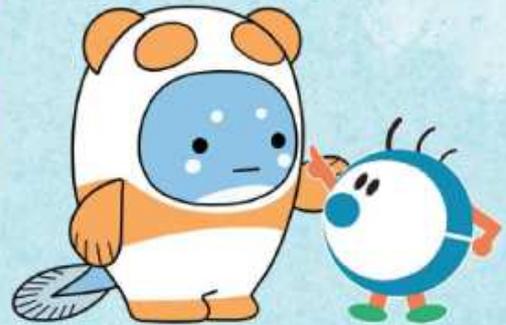
市制50周年を機に

湖西市公式プロモーションキャラクター

が誕生!



みんなと仲良くなりたくて、人気者のパコダのふりをして浜名湖から出てきたらしい。ほんとはうなぎ。



湖西市マスコットキャラクターコーちゃんも、これまでどおり活躍します。

●湖西市を全国に引っ張り出してくれるキャラクター

全国的に知名度のある浜名湖の「うなぎ」をモチーフに、プロのデザイナーさんたちから集まったキャラクター14案の中から、市役所内の審査や、のびりん利用者・高校生・小学生などの市民による街角人気投票を経て、決定しました。



●キャラクターの名前を募集します!

親しみやすく覚えやすいキャラクターの名前を募集します。採用された人には抽選で新キャラクターのグッズをプレゼントします。

【募集期間】10月10日(月)まで

【応募方法】右のコードからウェブ応募または中央・新居図書館、西部地域センターに置いてある応募用紙でも応募できます。※1人1案まで

●問合せ先 秘書広報課

☎053-576-4541 FAX053-576-1139



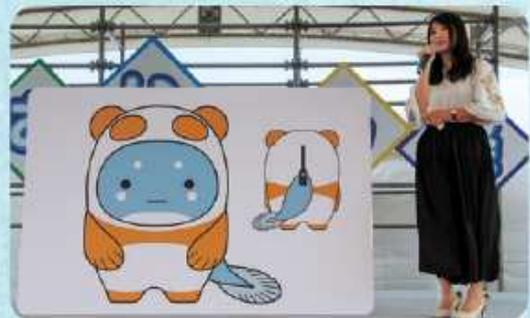
キャラクター制作者

稲 空穂さん

メッセージ▶『突然変異で白黒になる「パンダウナギ」や縁起のいい黄金ウナギから連想しました。選んでいただけたことに湖西市民として嬉しく思います。このキャラクターが市民の皆さんに愛されて成長していってくれば嬉しいです。』

【プロフィール】

漫画家。浜松市出身、湖西市在住。会社員を経て、2017年『おとぎ話バトルロワイヤル』(KADOKAWA)で漫画家デビュー。代表作に『特別じゃない日』シリーズ(実業之日本社)。



▲おいでん祭での公表の様子(パネル右が稲さん)

市制施行50周年記念コーナー

連載 「わたしの50年」③

強い方言にびっくりした50年前

一緒に50周年を
お祝いしましょう!



新居町で暮らす太田 眞一さん(78)・雅子さん(72)は、今年11月に金婚式を迎えるご夫婦です。太田さん一家の50年間や、地域への思いを尋ねました。

浜松市出身の雅子さんは、仕事で知り合った眞一さんとの結婚を機に新居町に住み始めました。「近所のおじいさん達の方言がきつく、怒られているかと思ってびっくりした」という50年前。また、小路(碁盤の目のように入り組んだ細い路地)でしょっちゅう迷子になったことも。

仕事の都合で一度は浜松市に移り住みましたが、眞一さんが地元の仲間たちや大好きな魚の味を忘れられず、新居町に家を建てました。まちなかで育った雅子さんは、新居町の水路や山など自然あふれる環境で3人の子ども達を育てられて良かったと振り返ります。

面倒見がよく明るい雅子さんに助けられたという口数の少ない眞一さんと、思ったことは何でも伝えるというおしゃべり好きな雅子さんの二人三脚の生活。「振り返ればあっという間の50年だった」といいます。子どもたちは独立し、小学生から23歳まで8人の孫にも恵まれました。

現在の二人のささやかな楽しみは、毎日の朝の散歩。新居町に多くある水路で、水鳥が素早い動きで魚を捕まえる瞬間を見られた日は二人で大喜びしているそうです。集団登校の子ども達も、横断時に止まってくれた車に深々とお辞儀をして挨拶している姿は気持ちが良く、まちの自慢だと感じています。

浜松湖西豊橋道路の開通など、未来に向かってまちがますます発展していく様子を見届けたいと二人で笑顔を見せてくれました。



問合せ先 スポーツ・生涯学習課 ☎ 053-576-4793 FAX 053-576-1237
 企画政策課 ☎ 053-576-4521 FAX 053-576-1139

3年ぶりの開催!

第22回 **科学って楽しい! 科学って不思議!**

湖西市 市制50周年

入場無料

モノづくりや科学技術を楽しみながら体験しよう

とき 12月10日(土) 10時~14時

ところ アメニティプラザ

駐車場

P1とP2以外の駐車場をご利用ください。

●市制50周年記念特別出展(サブアリーナ)

- ▶トヨタ自動車株式会社 VR体験
360度臨場感のある映像を体験できるVR(バーチャルリアリティ)で、トヨタ自動車の技術が体験できるブースが登場。
※7歳未満は不可、13歳未満は必ず保護者の同伴が必要。
- ▶豊橋技術科学大学 ミニロボット操作体験・技科大サーキット
※10時から整理券を配布します。
- ▶マナカル湖西校&UGO学院 マイククラフトグランプリ表彰式・マイクラフト体験

●湖西市内企業・団体出展(メインアリーナ)

- ▶笑いあり! 学びあり! のサイエンスショー&ワークショップ
- ▶ポートふしぎ発見講座
- ▶モータを作ろう! 自分だけのキーホルダーも作ろう!
- ▶AIで棒人間! 順番通りに手を動かしてみよう・ミニチュア機械でコースターをつくろう
- ▶電気をつくろう! つかおう! うごかそう!
- ▶力を合わせて、発電体験
- ▶親子で「走らせて遊べるクラフトカー」を作ろう!
- ▶ロボットを動かしてみよう!
- ▶空気の方で浮く! ホバークラフトを作ってみよう
- ▶世界にひとつだけの、オリジナル乾電池を作ろう!
- ▶ミニ四駆を走らせよう
- ▶おもしろやじろべえ
- ▶からくり仕掛けとLEGOロボットカーの披露 など

詳しくはこちらをご覧ください▶

湖西市に全力投球! 71

市制50周年記念、トヨタ・豊田章男社長による、子どもたちへの特別授業!

10月30日、豊田佐吉翁の命日に、第59回豊田佐吉翁顕彰祭。少年少女発明クラブの表彰や、奨学生の立派な感謝の言葉もいただきました。豊田佐吉記念館では、3年ぶりに山口地区の皆様による顕彰祭も。鷺津小では4年生による佐吉翁の劇も、ありがとうございました! 加えて今年は、湖西市制50周年記念、豊田章男社長による子どもたち向け「クルマの未来」記念授業! 35年前には、豊田章一郎トヨタ社長(当時)からも「創造・勇気・挑戦」をテーマに講演を頂き、今回は「クルマの未来」として、「トヨタの電池のほとんどは、湖西市で作られている」ことや、脱炭素(カーボンニュートラル)に向け、水素エンジンなどさまざまな可能性への取組のお話。さらに質問コーナーでは、子どもたちから、「社長は、何の車に乗ってますか?」「トヨタらしさ、とは?」「車の開発にかかる時間は?」など、次々と手が挙がりました。率直で、時には鋭い質問にも、丁寧に答えいただき、質問した中学生のご家族からは、お子さんが帰宅してから、嬉しそうにご家族に話されたとも、お聞きしました。



屋外では現地現物、水素エネルギーの実験やZEV車両、FCキッチンカー展示など、未来に向けて、思い出に残る一日になったら、幸いです。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

10月末からは、好評をいただいた「湖西パーク」販売が、かきこやの店舗で再開! じっくり愛情をもって育てられた自慢の豚肉、市内はもちろん市外からも引合いを頂き、ご当地グルメプロジェクトと合わせ、地元産品のブランド化を! 12月中旬からは、物価高騰などへの支援として「プレミアム付デジタル商品券」を発行します。新しい生活様式に対応したキャッシュレス決済とともに、年末年始に向け、市内の消費喚起で地域経済の活性化を進めましょう!

湖西市長 山 剛士

湖西市市制施行 50周年を振り返る

令和4年(2022年)は、市制施行50周年を記念して、特別なイベントを行いました。



1月18日 市制20周年タイムカプセル開封



5月31日 「こさいの日」トヨタ自動車特別授業



1月1日 遠州新居手筒花火記念披露



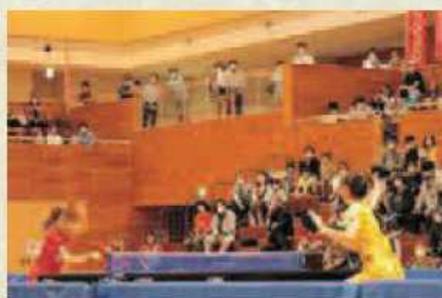
5月14日 「こさい」の日宣言・記念式典



8月20日 3年ぶりの湖西おいでん祭



8月20日 湖西市新キャラクター初披露



10月22日 デンソーポラリス ホームマッチ



11月11日 新居高校 高校生議会



9月25日 初開催！ 消防フェスタ



10月23日 アニバーサリーコンサート



12月10日 青少年の科学体験



未来に紡がれるモノづくり精神

10月30日 豊田佐吉翁顕彰祭・トヨタ自動車 特別授業『クルマの未来』

◎湖西市に生まれ、数々の発明でトヨタグループの礎を築いた豊田 佐吉翁の命日に、鷺津中学校で顕彰祭が行われた。佐吉像の前で、トヨタ自動車の豊田 章男社長は、「私にとって湖西はトヨタの原点—自分のためではなく母や世の中の人を楽しみたい—を学んだ大切な場所」、水素エンジンの開発などに「変化を恐れず楽しんで挑戦を続ける」と語った。

◎顕彰祭後、鷺津小学校では4年生が佐吉の一生を寸劇として披露した。同校では40年以上代々続けられているものだ。4年生全員が交代で舞台上がり、主役である佐吉役は、女兒や外国にルーツがある児童も務める。それは誰でも佐吉のように挑戦できるのだと教えてくれているようだった。

◎同日午後には、市内の中学生と保護者約200人が新居地域センターに集まり、トヨタ自動車による特別授業を受けた。

第一部は、自動車研究家の山本 シンヤ氏による楽しいクイズを交えたカーボンニュートラルや水素エンジンについての講義。ハイブリッドカーの販売で日本の1億2,700万トンのCO₂が削減された。その量は、湖西市が排出する170年分もあると話すとき驚きの声が上がった。

第二部では、豊田社長も登壇し、前述のハイブリッドカーの電池はほとんどが湖西市で作られていると話した。“クルマを走らせる550万人”を強調し、トヨタだけではなく国内で自動車産業に携わる人々が「地球の未来を守っている」ことを知ってもらい、応援される産業になってほしいと願った。最後に、豊田社長は「未来というのはみんなで作るもの、行動すれば絶対結果が変わってくることを心に留めておいてほしい」と伝えた。



屋外に展示された移動式発電・給電システム。この他にも、燃料電池自動車(FCEV)「MIRAI」や、水素とガソリンの違いがわかる実験などのコンテンツが並んだ。



湖西市公式コミュニケーションキャラクター

名前が決定しました!

3,366件、約1,500種類の名前の応募があり、中高生の人気投票や審査を経て決定しました。応募いただいた皆さんありがとうございました。

●「うなぽん」の名前の由来

「浜名湖からぽんっと出てきているんなところにぽんぽん出現するうなぎだから」らしい。(うなぎ+ぽんだで「うなぽん」と書こうとして本人が書き間違えたという説も)



問合せ先

秘書広報課

☎053-576-4541 FAX053-576-1139

※「うなぽん」の名前を応募してくれた41人の中から抽選でグッズをプレゼントします。当選者には、応募時にお知らせいただいた連絡先にご連絡します。



公式Twitter ▶
うなぽん【こうしき】
@unapon531



湖西市公式
Instagram ▶
@kosaicity_pr



2022年に創業50周年を迎えた2つの会社。製品を届け続ける2社のこれまでと、これからの製造業を担う若者に伝えたいことを聞きました。

米澤 宣さん(52) 米澤製作 2代目社長(写真右)

杉山 健さん(38) 伍葉精機 副社長・次期社長(写真左)

■どんな会社ですか？

米澤：板金や精密板金を専門とする会社です。従業員29人の小さな会社ですが、全国の上場企業と取引があり、J R東海の新幹線や在来線車両内装の金属部分も手掛けています。

杉山：工作機械部品の中でも量産が難しいコレットチャックという部品の製作に強みを持っています。職人技が必要なパーツで、全国でも作る会社は少ないです。

■事業のやりがいや大変なところを教えてください

米澤：創業から培い継承してきた技術を認めてもらった結果、小さな会社ながら上場企業からも「米澤さんに頼みたい」と仕事を任せてもらえるのがやりがいです。反対に、これからもこの技術をしっかり次世代に受け継がないといけないというプレッシャーがあります。

杉山：コレットチャックはオーダーメイドなので毎日作るものが変わります。図面から実際に形にする作業では、0.001ミリのズレも許されないという難しさがやりがいに繋がっています。事業をこれから継承する立場として、この先30年は会社を存続させないといけないというプレッシャーを感じています。

■これからの製造業を担う世代へのメッセージ

米澤：今日本にある製造技術を業界全体で受け継がなければいけない中で、技術と魅力を次世代に伝えることが使命と感じています。若い人たちは、自分のために汗をかき勉強してほしいです。小さな企業でも技術力があれば大きな仕事ができる、そんなギャップをやりがいと感じて、熱意を持って働ければ、技術と知識は後から付いてくると思います。

杉山：電気自動車へのシフトなど、製造業にとっては変化の時代。技術力が今以上に必要になってくると思います。だからこそ、若い人には時間を惜しまず自己投資してほしいと私も思います。調べれば何でも分かる時代ですが、じっくり学んで自分のものにしたことは絶対に将来のプラスになります。製造業に興味を持つ子が減っている中、小学生の見学受け入れなど、私たちにできることはこれからも続けていきたいと思っています。



10/23 ころひとつに 届ける音色

市制施行50周年をお祝いするアニバーサリーコンサートが開催され、社会人や中高生が演奏を披露しました。夏に航空自衛隊中部航空音楽隊員の特別指導(写真下)を受け、練習に励んできた岡崎中学校吹奏楽部は「コロナ禍でイベントが少ない中、練習の成果を披露できる機会があっけなかった」と話しました。アニメ主題歌などの演奏を、時に観客が手拍子で盛り上げ、コンサートの最後は社会人と学生の合同演奏による「湖西市歌」で締めくくられました。



▲豊橋技術科学大学のミニロボット操作体験(上)、マナカル湖西校&UGO学院のマイクラフト体験



▲トヨタ自動車株式会社のVR(バーチャルリアリティ)体験

12/10 最新の科学やモノづくりを体験

科学を楽しみながら体験できるイベント「青少年の科学体験」が3年ぶりに開催されました。市内のモノづくり企業や湖西少年少女発明クラブなどの体験ブースに加え、市制50周年記念としてトヨタ自動車や豊橋技術科学大学の特別出展も。スポーツカーを運転できるVR体験では、普段感じるができないスピードに驚く子どもたちの姿がありました。



湖西市新キャラクター「うなぼん」も登場▶

市制51年目のうさぎ年がスタート。 未来へ跳躍！

令和5年、うさぎ年がスタート。昨年末には、市制50周年フィナーレとして、盛大に遠州新居手筒花火を記念披露。疫病退散と未来に繋がる炎が、大晦日の夜に灯されました。

2022年の「みんなが選んだ湖西市5大ニュース」。市公式LINEで募集したところ、磐田や掛川など周辺市からも多くの投票をいただき、第1位は、「さわやか」が移転オープン(820票)、第2位は、僅差で新キャラクター「うなぼん」誕生(813票)第3位が、「3年ぶりのおいでん祭、同時に浜名湖MUSIC FES開催」でした。



◀市町対抗駅伝チームの応援に駆けつけたうなぼん

次点に各種の市制50周年事業や、市民提案ニュースとして「市の公園がナニコレ珍百景に登場」「新居関所周辺ほか、カフェや飲食店が増え、イオンタウンも着工」など、まちの話題を多く投稿していただき、ありがとうございます。

12月から、医師会の皆様に大変ご尽力いただき、当直医に加え、日曜祝日・年末年始等の発熱専門外来を開設頂いてます。今年は新型コロナやインフルエンザ、加えて鳥インフルや豚熱など、目に見えない脅威を乗り越えて、良い年にしたいですね。

例年末の、今年を表す1文字を、「継」とさせていただきます。市制50周年での、子どもたちの未来に繋がる各種事業を「継続」して、市の持続可能な発展に繋げていきましょう！



湖西市長 影山剛士